

令和3年度 行政懇談会 要望書

「子どもをみんなで育てるまち名張」に向けて
行政への満足度および要望

名張市保育所（園）・認定こども園保護者会連絡協議会

今年度も「満足度」の項目を入れ、アンケートを実施致しました。
結果につきましては次頁の通りになりますが、集まった意見の中には、

- ・ オムツのゴミ袋無料化が助かっている。
- ・ 土曜日保育が就労に合わせて利用できるのが助かっている。
- ・ 子育ては名張はとても力を入れて下さっているのでとても満足しています。
- ・ 3人目は保育料が無料ですごく助かっています。
- ・ 未就学児の窓口負担がなくなったこと、本当にありがたい。
- ・ 保健センターやかがやき等の育児相談がありがたい。
- ・ みらいのこどもクリニックの病児保育はとても助かる。
- ・ 24時間体制の医療が助かる。
- ・ いつも応急で小児科がやっているのは本当に助かります。
- ・ 公園がたくさんあり助かっている。
- ・ かがやき等、大変手厚く、職員の皆さんも親切で助かっています。
- ・ さつき台ではさつきっこ広場、すまいりーと地域の人々と交流する日が月に1回はあり、
いろいろなアドバイスやさつき台に住んでいるママたちと話すことで、すごくストレス発散
になりました。
- ・ 園では毎月これでもかというほど避難訓練をしてくれています。子どもたちの防災に対す
る意識は高いと思います。これからも続けてください。

このような非常に満足度の高い肯定的な意見が各項目多く見られたことをまずもってご
報告させていただきます。

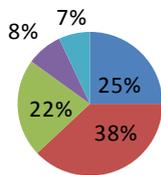
しかしながら、この一方で改善や検討を願う意見も同様にあり、今年度も要望書を作成さ
せて頂くこととなりました。

アンケート結果

	配布枚数	回収	回収率
合計	1127	358	32%

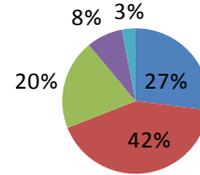
	満足している	やや満足している	どちらともいえない	やや不満がある	不満がある	計	有効回答率
①子育てについて	90 (25%)	134 (38%)	77 (22%)	29 (8%)	26 (7%)	356	99%
②医療・保健・福祉について	95 (27%)	146 (42%)	68 (20%)	28 (8%)	10 (3%)	347	97%
③憩いの場について	54 (16%)	96 (29%)	127 (38%)	37 (11%)	19 (6%)	333	93%

①子育てについて



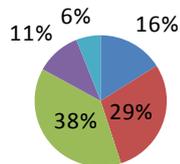
■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらともいえない
■ やや不満がある ■ 不満がある

②医療・保健・福祉について

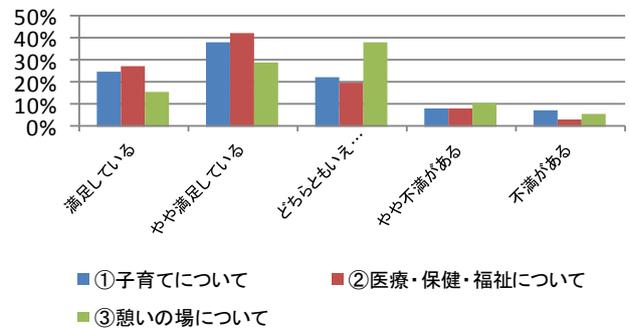


■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらともいえない
■ やや不満がある ■ 不満がある

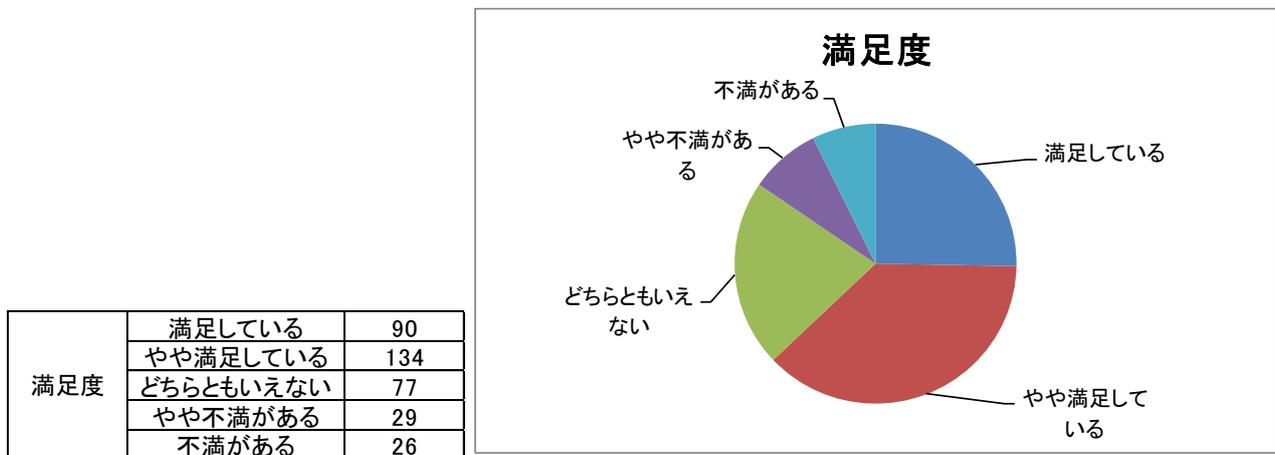
③憩いの場について



■ 満足している ■ やや満足している ■ どちらともいえない
■ やや不満がある ■ 不満がある



①子育てについて



行政への要望内容

① 2人目からの保育料を無償化もしくは半額にしてほしい

今年度は2人目からの保育料の無償化や、上の子の年齢に関わらず2人目半額化を希望する意見が多くみられました。

- ▶家族が増えると生活費もかかるので、子ども2人目入園より無償化にしてほしい
- ▶他の地域では2人目から無償化ですが、なくて残念です。
- ▶子どもを増やしたいなら、2人目以降は無償化にするべき。
- ▶子ども2人目入園・入所より無償化にしてほしい。
- ▶上の子の年齢に関わらず、2人目を保育料無償化にしてほしい。
- ▶子ども2人目で、上の子が小学校に入学していても保育料を免除してほしい。
- ▶2人目が入園、入所より無償であればとてもありがたいが、無償は難しくても減額していただけたら助かります。他の自治体で半額なども聞き、魅力的に感じます。
- ▶3人目プロジェクトがありますが、2人目から保育料の無償化もしくは半額にしてもらえればありがたい。
- ▶1人目が保育所を卒園して、2人目が乳児の場合、保育料が満額になり、学校へ行く子どもも学童や学校関係でお金がかかる。2人目半額という制度を1人目が卒園しても適応してほしい。

<回答：保育幼稚園室>

保育料につきましては、国が政令で定める額よりも減額した設定とし（例：所得に応じた国の最高月額 104,000 円に対し、名張市の最高月額 54,500 円）、差額を市が負担することで利用者の負担軽減を図っています。また、多子世帯の負担軽減につきましては、国の基準に基づくもの（年収約 360 万円未満相当世帯は多子計算に係る年齢制限なし）のほか、世帯の所得に関わらず、18 歳の誕生日以後の最初の 3 月 31 日までの子を第 1 子として、第 3 子以降の保育料を無償化する名張市独自の軽減策にも取り組んでいるところです。

一方で、名張市の財政は、市税収入の減収や高齢化に伴う社会保障関係費の増加などによる財源不足への対応を続けている状況でありますことから、保育料のさらなる軽減につきましては、国の動向も注視しつつ、今後の検討課題とさせていただきたいと考えております。

⑤ 兄弟姉妹が同じ園になる様にしてほしい

毎年、件数の多い要望です。市の方でもご配慮いただいているようで、「兄弟が別の園にならないようにしてくれて助かっています」との声もみられましたが、現状、いまだ別の保育園や保育所に通われている方がおられるようです。主な理由としては以下の通りになります。

- ▶ 2 人目が入園、入所の際に、同じ園に入ることができるように最大限配慮していただきたいです。災害時の心配、行事などの日程調整の必要（重なってしまうと子どもが悲しい思いをするのでないか）、送迎・用品の負担などの面より、そう思います。
- ▶ 兄弟が別の園になってしまうのはとても不安、大変なので、できるだけ同じ園に、結果も少し早めで分かると安心だと思えます。

<回答：保育幼稚園室>

名張市では待機児童の解消策として、平成 27 年度より 0 歳児から 2 歳児を対象とした小規模保育や事業所内保育といった地域型保育事業を順次開設し、現在 10 施設となっています。

これに伴い、0 歳児から 2 歳児の受け入れ枠が広がる一方で、3 歳以上の兄弟がいるご家庭につきましては、別々の保育施設の利用になるケースが発生している現状があります。

また、市の中心部に位置する保育施設や保護者の通勤途上にあるなど利便性のよい保育施設に申込みが集中する傾向があり、きょうだいを同じ保育施設にご案内できない場合もあります。

こうしたことから、調整基準を見直し、令和元年度からはきょうだいの入所に係る調

整点のさらなる引き上げを行うなど、少しでも同じ施設に入れるよう努めているところ です。

このような中、令和3年4月からきょうだいが別々の保育施設を利用されていたご家庭について、その後の転園希望の登録により、希望施設に空きが生じた時点で転園調整を行った結果、12月1日までに7家庭がきょうだい同じ保育施設に転園されています。

また一方では、きょうだいも別々になっても、低年齢のうちは人数が少なく家庭的な雰囲気 の地域型保育事業への入所を希望するご家庭もあります。

災害時の心配、行事などの日程調整等、保護者様にはご迷惑をおかけしていますが、今後も引き続ききょうだいと同じ保育施設に入所し、保護者様が安心して送迎いただけるよう、また、入所調整結果につきましても、少しでも早くお知らせできるよう努めてまいります。

◎ 育児退園をなくしてほしい

こちらでも毎年アンケートに多い要望です。

- ・満足はしていますが育児退園だけではなくしてほしいと常に思っています。育児退園がある為、2人目を先に・・・と考えたり、自分の年齢を気にしながら不安に感じることがあります。子どもも毎日楽しく過ごしているようであり、そのままの環境でいさせたい気持ちがあります。
- ・育休退園をなくしてほしい。転園したがまた仕事に復帰する時には転園しないといけないし、友達関係や子どもの発達等気になる事もあり同じ園でいたい。転園を繰り返すことで子どもが精神面で不安定になったため。
- ・第1子が3歳未満の場合、第2子が生後6ヶ月で退園(所)しなければならないのは、正直辛かった。2歳未満ほど、家で乳児をみながら同時にみるのが難しいことも多いので、仕事復帰する人の場合は退園(所)しなくて良いようにしてほしい。

<回答：保育幼稚園室>

保育施設を利用する場合は、保護者の就労等、保育を必要とする要件に該当していなければなりません。このため、出産後6か月以降に育児休業を取得する場合は、家庭で保育を行えることから、利用の要件から外れることとなりますが、出産後6か月で仕事に復帰される場合は、要件が産後から再度就労に変更となり、継続して保育を受けることができます。

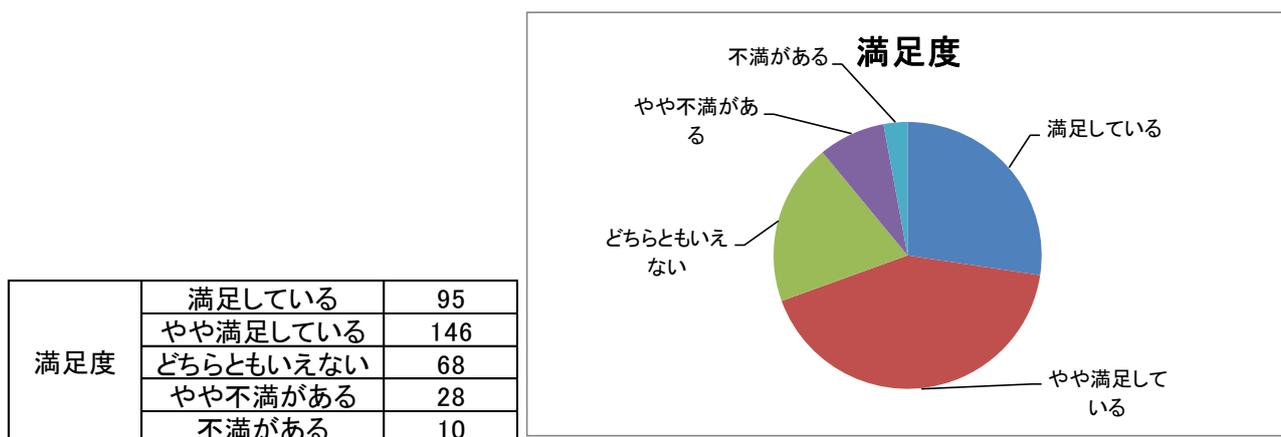
なお、出産後の保育の利用につきましては、国の基準では出産後間もないこととなっており、多くの市町村では産後休暇があげられる8週までとしているところですが、名張市では出産後6か月までの利用としています。

また、育児休業開始時点ですでに保育施設を利用している3歳児・4歳児・5歳児に

については、集団生活での友だち関係や子どもの発達の保障、保育環境の変化に留意する必要があるという観点から、平成30年4月より、引き続き同じ環境のなかで保育利用の継続ができるよう改善を図りました。

名張市では、待機児童数は減少傾向にあるものの、依然として3歳未満児を中心に待機が発生している現状があります。3歳未満児の育児休業中の保育の継続につきましては、今後の待機児童の状況を勘案しながら検討していきたいと考えております。

② 医療・保健・福祉について



行政への要望内容

① 予防接種について

昨年10月よりロタウイルスワクチン接種が定期接種になったことで子育て環境での1つの不安が解消されることとなり、非常にありがたく思っています。

また、昨年度においてはインフルエンザ予防接種の全額負担をして頂き「とても助かりました」との声も寄せられております。

その中で、インフルエンザ予防接種に関しては、引き続きの全額負担や、助成金拡大、中学生以上も補助対象にしてほしいといった意見が上がっております。

さらに昨年同様「おたふく風邪の予防接種の助成金があると助かります」など、おたふく風邪の予防接種の費用負担を願う声もみられました。

助成金があれば接種率が上がり、発症を未然に防ぐことで、発症時の生活サイクルや仕事への影響を無くすことができ、より子育てがしやすい環境になっていくと考えられます。

双方、定期接種にするのは難しくとも、インフルエンザ予防接種のさらなる助成拡大

及びおたふく風邪の予防接種を助成対象に追加して頂けますよう、ご検討のほどよろしくお願い致します。

<回答：健康・子育て支援室>

予防接種は、感染症の発症や重症化を予防するために行うものです。また、人に感染させてしまうことで社会に病気がまん延するのを防ぐことを目的としています。

予防接種法に基づいて市が主体となっていく「定期予防接種」と、定期予防接種以外で個人の判断と責任のもとで行う「任意予防接種」に分けられます。任意予防接種は全額自己負担です。

インフルエンザ予防接種については、昨年度は新型コロナウイルス感染症とインフルエンザの同時流行が懸念されており、医療提供体制への負荷を軽減させることを目的に、令和2年度に限り、国からの臨時交付金で乳幼児(生後6か月から小学校就学前)を対象に無料化の実施を行うことができました。

インフルエンザやおたふくかぜの予防接種を含む他の任意予防接種に対する助成については、今後、重要性、有効性、安全性等を考慮し、他市町等の動向を見極めながら検討を重ねたいと考えています。

② 産婦人科開設について

当初、2019年度中に開設予定だった市立病院の産婦人科ですが、2020年度中にずれ込むと発表された現在でも未だ開設されていない現状を疑問・不安に思う意見や、期待している声がありました。

現時点での進捗状況のご回答をお願い致します。

<回答：総務企画室>

市立病院の産婦人科開設に向けた進捗状況ですが、現在、まずは、婦人科領域から取り組んでいく準備を進めているところです。しかし、現在、終息傾向ではあるものの、新型コロナウイルス感染症対策を最優先としておりますので、今後の取組にかかる具体的方法や時期等につきましては、引き続き、県下の感染状況等を注視しながら関連大学等と協議を進めてまいりたいと考えております。

③ 医療費の窓口負担について

未就学児の医療費の窓口負担無料化につきましては「すごく助かっています」との声が数多く寄せられています。

一方で「義務教育が終わるまで、医療費の窓口負担をなくしてほしい」といった意見も多数あります。ご検討のほど、お願い致します。

<回答：保険年金室>

名張市では、現在、未就学児（6歳に達する年度末まで）については、県の補助金を活用し、三重県内の医療機関を受診した際の窓口負担の無料化と、三重県外の医療機関を受診した際の窓口負担分を、後日、指定口座へ振り込みすることにより医療費の助成を実施しています。

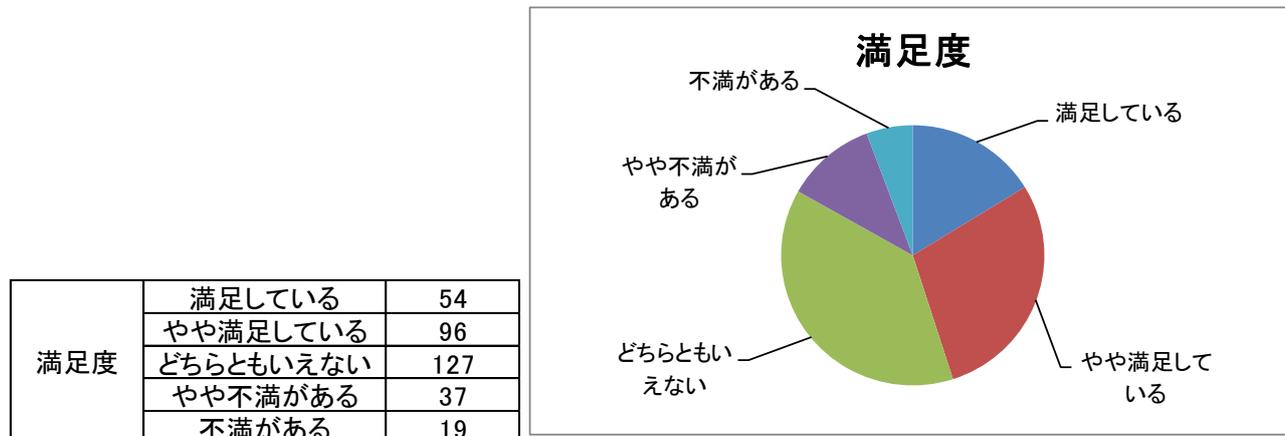
また、小学生については県の補助金を活用し、中学生については市の単独事業として、窓口負担分を、後日、指定口座へ振り込みすることにより医療費の助成を実施しています。

ご要望にありますように、小中学生の窓口負担を無料化した場合、国からの国庫負担金が減額されるというペナルティーが課されることになり、また、県の補助金交付要綱の要件から外れるため、補助を受けることができず、子ども医療費の助成事業の継続が困難な状況となります。

市としましても、毎年、国に対し、小学生以上の窓口負担の無料化に伴う国庫負担金の減額措置の廃止、県に対し、補助金の対象範囲の拡大を要望しているところです。

国庫負担金の減額措置等の問題が解消されましたら、県内の他市町と連携し、小中学生の窓口負担の無料化について検討したいと考えております。

③ 憩いの場について



行政への要望内容

① 憩いの場（公園）について

例年、関心の高い項目で、今年も多く意見・要望が集まりました。

まず、その中に昨年整備していただいた鴻之台3号公園（かぼちゃ公園）の駐車場について「かぼちゃ公園の駐車場が広くなり、嬉しいです。ありがとうございます。」との声も上がってありましたことをご報告致します。

しかし、コロナ禍で市外・県外へ出ることが難しい現状もあり、市内の身近な公園や施設で子どもたちを安心安全に遊ばせてあげたい、一か所に集まらず分散することによ

って密を避けたいという観点から、市内の公園や施設の増設を願う声が非常に多くあり、特に「自然とふれあえる森林公園、大型の遊具やアスレチックなどがある規模の大きな公園の増設」の要望が多数みられましたので、ご検討のほどよろしくお願い致します。

<回答：道路河川室、維持管理室>

現在、国土交通省により名張川及び宇陀川合流付近で引堤工事を実施しており、引堤工事により創出される河川空間を芝生広場等に活用できるよう「名張かわまちづくり計画」を策定し、引堤工事に併せ整備を進めております。

また、大型遊具等の増設につきましては、現在のところ増設計画はございませんが、名張中央公園、平尾山カルチャーパーク、朝日公園、薦原公園、桔梗が丘9号公園、鴻之台3号公園の6公園に複合遊具を設置しており、ご利用いただくことができます。

④ 安心、安全について

今回も危険個所に対する要望や意見が寄せられました。具体的な箇所につきましては別表にて、情報提供させていただきます。ご検討・対策をお願い致します。

また今年度は、コロナワクチン接種をした際の児童への副反応などの影響への見解、また集団接種による同調圧力を起因とした未接種児童に対する差別への対応策をそれぞれ名張市としてのお考えを問う声が見られましたので、ご回答の程お願い致します。

<回答：健康・子育て支援室>

ワクチン接種は大人と同様に子どもでも新型コロナウイルス感染症を予防する効果が期待でき、結果として同居する家族等に感染を広げる可能性を減らすことで、子どもたちが安心して日常生活を送ることにつながると考えられます。

現段階では、子どものワクチン接種は満12歳以上の方を対象として実施されていますが、ファイザー社のワクチンについては、米国において5歳～11歳への接種が開始されており、日本においては令和3年11月10日に薬事承認の申請がなされています。

ワクチン接種の副反応については、大人と同様にワクチン接種部位の疼痛や発熱、からだのだるさ、頭痛などです。

ごくまれではありますが、ワクチン接種後の副反応が疑われる疾患として、心筋炎・心膜炎が報告されています。これは、1回目より2回目接種後に多く、若い、男性に多い傾向がみられます。

ワクチン接種することは義務ではないことから、ワクチンのメリット、デメリット双方について、本人と保護者（接種者本人が16歳未満の場合）が十分理解した上で、接種に同意した人が接種します。また、子どもは副反応と思われる症状をうまく説明でき

なかったり、本人が副反応に気づかない場合もあるので、周囲の大人が日ごろから子どもの体調の変化に注意深く気をつけてください。

<回答：教育総務室>

名張市においては、児童生徒に対する新型コロナワクチン接種会場は小児救急医療センターを開設している名張市立病院としています。

この接種会場については、接種への個々の意向が必ずしも尊重されず同調圧力を生みがちとなる学校での集団接種は避け、かつ接種後にごく稀に起こることがあるアナフィラキシーショックやワクチンを受けることに対する緊張や痛みをきっかけに起こる血管迷走神経反射などにも迅速に対応でき、児童生徒や保護者の方により安心して接種いただけるように選定を行ったものです。

また、ワクチン接種の強制につながることはないよう、学校行事の参加等に際して接種の条件を付さないことはもちろんのこと、接種の有無によって差別やいじめなどが起きることのないように、学校でも必要な説明・指導を児童生徒に行っております。

<回答：人権・男女共同参画推進室>

児童も含め、ワクチン未接種者全体に対する差別対応としまして、市ホームページ、広報、SNS等で、随時啓発を行っております。また、ワクチン集団接種期間中、接種会場に「STOP！コロナ差別」のポスターを貼付し、ワクチンを受けられない人へのご理解、ご協力を求める内容の啓発を行いました。

⑤ 防犯・防災について

今年度は新たに防犯と防災についての項目を追加させて頂きました。
以下の3点を要望として挙げさせて頂きます。

①子どもと防犯・防災に触れる機会を増やしてほしい。

(講演会、イベント等)

<回答：危機管理室>

三重県では、地域住民の防災意識向上に向け、地震体験車を派遣しています。

名張市においても、各地域づくり組織や小中学校等に対して体験車の積極的活用を周知しているところです。

現在、防災訓練の実施日や地域のイベントで地震体験車を活用していただいております。

保育園での行事に地震体験車を積極的に活用いただけるよう働きかけてまいります。

⑤災害時、乳幼児に必要なものが備蓄されているのかを教えてください。

(おむつ、ミルク、離乳食等)

<回答：危機管理室>

名張市では、三重県備蓄・調達基本方針に基づき、固形ミルク（フォローアップミルク1～3歳児用含む。）、液体ミルク及び哺乳瓶（ミルク発熱セット含む。）並びに紙オムツの備蓄を行っています。

また、ミルク用のお湯が使えるようウォーターサーバーの提供を受ける災害応援協定を締結しています。

市での備蓄はありますが、「自助」を基本として、市民の皆様におかれましても必要な物品を各々備蓄していただくようお願いします。

⑥避難の際に「家族全員が無事避難」を示すプレートなど、市内全域で統一

されたものを配布してもらえないか？

<回答：危機管理室>

各地域の実情に応じて、家族等の安全を示すプレートやタオルを用いて安否確認に取り組まれておりますが、その中で各世帯の安否の表示・運用方法について検討の余地があります。

名張市としましても、各地域の実情に応じた取組を尊重したいと考えておりますので、統一したプレート等の配布の予定はしておりません。

⑦ その他

その他の項目としては、以下の3点を要望・提案として挙げさせていただきます。ご検討のほど、よろしくお願い致します。

① マタニティマークのキーホルダーを無事出産できた人から回収し、再利用

してほしい。またそれと交換で名張市限定の「Baby in car」のステッカー

がもらえたら市のアピールにもなるし、良いのではないか？

<回答：健康・子育て支援室>

現在、マタニティマークのキーホルダーは、妊婦さんが妊娠届出をされた際に、母子健康手帳等と一緒に配布しております。また、名張市に転入された妊婦さんがお持ちでない場合にも配布しております。また、「Baby in car」のステッカーに関しましては、NPO 法人ひまわりの会から無償提供された自動車用マタニティ&ベビーステッカーを、妊娠届出時に配布しております。

無事出産できた人から回収し再利用するアイデアは、ご利益があり有り難いと思われる方もいらっしゃると思いますが、赤ちゃんの記念に置いておきたいと思う方や、自分の赤ちゃんのために新しいマタニティキーホルダーが欲しいと思われる方、衛生面のことなども合わせ、ご提案のあった名張市独自で市のアピールになるような施策について検討します。

⑧市役所の利用時間を週に1回でも延長できないか？（特に届出関係）

<回答：総合窓口センター>

総合窓口センターが担当しております戸籍・住民異動にかかわる届出につきましては、民間委託業者による委託にて業務をおこなっているところですが、昨今の名張市の厳しい財政状況の中において、委託料の増加や、届出に伴う他担当室を含む諸手続きにかかる職員の時間外勤務手当等の予算計上は、たいへん困難な状況であります。費用対効果の観点においても、定期的な窓口の延長については、ご要望に沿えない状況でありますこと、ご理解賜りますようお願いいたします。

なお、戸籍にかかわる届出のみ、休日を含む時間外においては、宿直室において、対応しております。

⑨カーブミラーが汚れていて全く意味のない場所がある。

各自治会などと協力して、状況把握をし、清掃を行えないか？

<回答：維持管理室>

カーブミラーの鏡面が汚れているなどの状況を見かけた場合は、名張市都市整備部維持管理室にご連絡ください。市管理のカーブミラーは、清掃の対応をさせていただき、市管理以外のカーブミラーについては、各管理者に連絡させていただきます。

以上

別表 1

- ・通学路に限らず、歩道が狭く、車との距離が近い。
- ・交差点等に車両進入禁止のポールやガードがあるが、特に交通量が多い場所にはもう少しあったほうが安心かと思う。

上記のような意見が多くみられ、特に指摘のあった危険箇所は以下の2箇所になります。

- ①美旗小学校近くの交差点は虹の丘保育園と美旗駅方向側には信号機がありますが、もう一方にも信号機をつけてほしい。小学生の通学路であり、車両の通行も多いのに、無理な進入をする車も多く危険です。
- ②美旗小学校の通学路（ノーベル製菓の道）で横断歩道が無いので、横断歩道をつけてほしい。



④ 指摘箇所拡大図及び要望図示



⑤ 指摘箇所拡大図及び要望図示



<回答：都市計画室>

信号機や横断歩道の設置は、公安委員会（警察）の所管となります。一般的にこれらの新設などの要望は、市に対し、地域や学校、PTAなどから「要望書」としてご提出いただき、市から警察に対し要請いたします。

この度、ご指摘の事項につきましては、小学校の通学路とのことですので、地域や学校などの関係者にご相談の上、別途「要望書」を提出することを検討いただきますようお願いいたします。